

## doda 転職前後の年収変動レポート 【2026年3月版】

パーソルキャリア株式会社が運営する転職サービス「[doda \(デュダ\)](#)」(編集長：桜井 貴史)は、dodaエージェントサービスを利用して2026年3月に転職決定した個人の、転職前後の平均年収変動額と年収変動割合を発表いたします。

### 2026年3月のサマリ

転職前後の平均年収変動額【全体】：+5.1万円(前月差：-2.3万円)

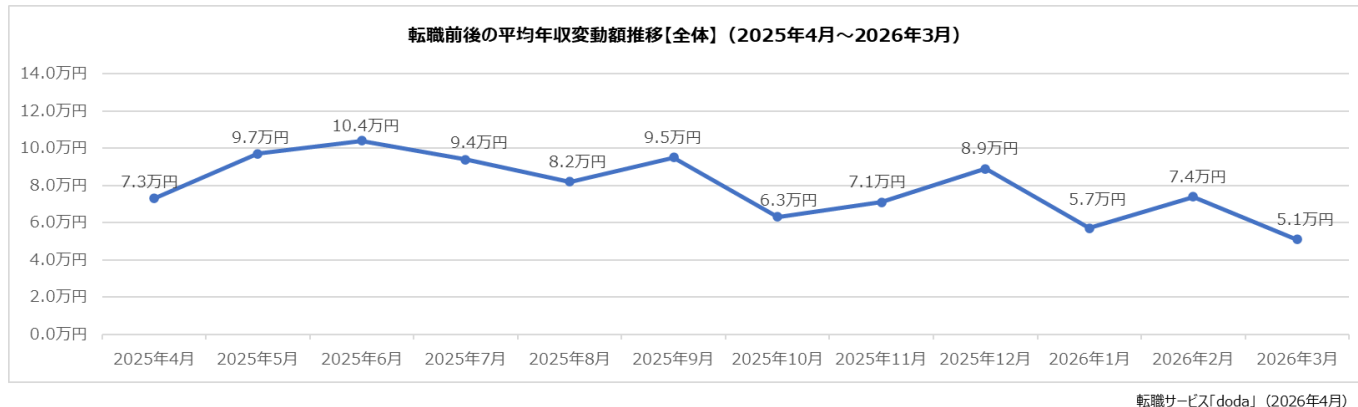
転職前後の平均年収変動額【転職後に年収増加した個人】：+71.8万円(前月差：-1.0万円)

転職者全体に占める転職後に年収増加した個人の割合：59.5%(前月差：±0ポイント)

### 【転職前後の平均年収変動額】

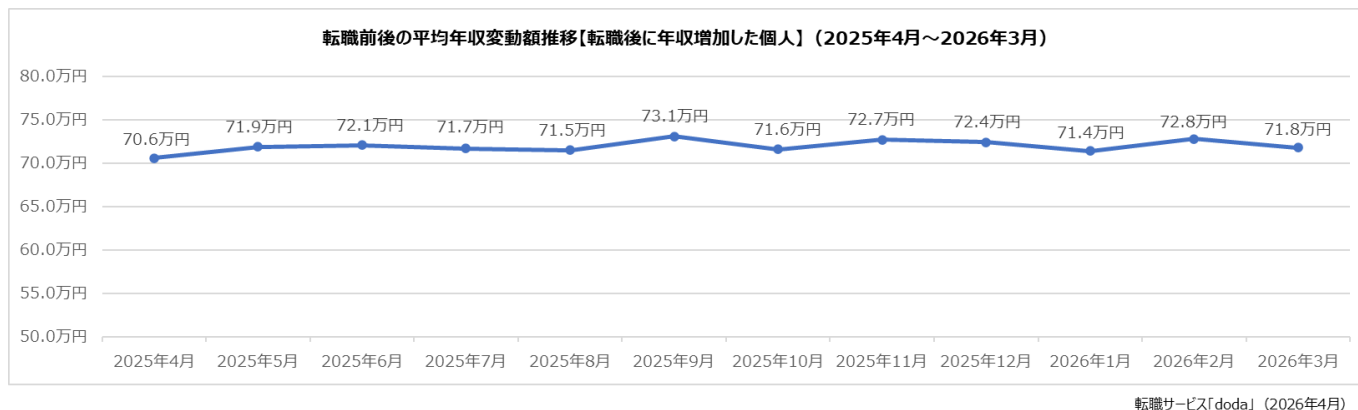
#### 1. 全体

転職前後の年収は、平均で5.1万円(前月差：-2.3万円)増加しました。



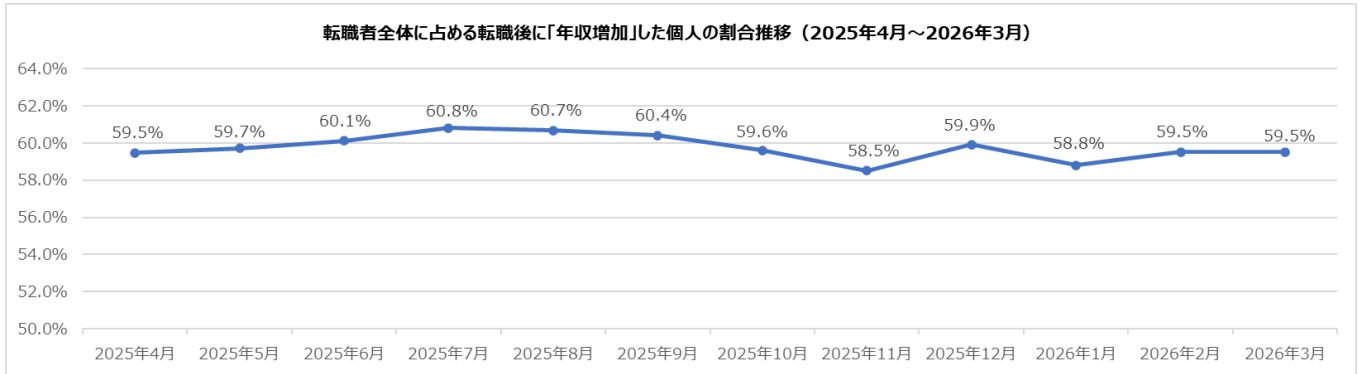
#### 2. 転職後に「年収増加」した個人

転職後に「年収増加」した個人の年収は、平均で71.8万円(前月差：-1.0万円)増加しました。



【転職前後の年収変動割合】

転職後に「年収増加」した個人の割合は、59.5%（前月差：±0ポイント）でした。



転職サービス「doda」（2026年4月）

【業種別：転職後に年収増加した個人が多かった業種】

転職後に年収増加した個人が多かった業種は、「IT・通信」「インターネット・広告・メディア」（64.8%）、そして「商社」（63.1%）が続きました。

転職後の業種	2026年3月		先月差	
	年収増加	年収減少	年収増加	年収減少
IT・通信	64.8%	33.5%	1.8pt	-1.3pt
インターネット・広告・メディア	64.8%	31.6%	3.8pt	-3.4pt
商社	63.1%	35.5%	-2.4pt	1.5pt
小売	62.8%	35.4%	1.1pt	-1.4pt
メーカー（素材・化学・食品・化粧品・その他）	62.0%	37.5%	0.9pt	-0.9pt
メーカー（機械・電気）	60.9%	38.7%	0.5pt	-0.4pt
コンサルティング・専門事務所・監査法人・税理士法人・リサーチ	58.9%	37.7%	-0.2pt	-1.7pt
建設・プラント・不動産	57.6%	41.8%	-0.5pt	0.8pt
医薬品・医療機器・ライフサイエンス・医療系サービス	54.9%	43.8%	-5.6pt	4.8pt
人材サービス・アウトソーシング・コールセンター	51.5%	46.8%	-3.4pt	2.7pt
金融	49.0%	50.2%	0.9pt	-1.4pt

転職サービス「doda」（2026年4月）

【職種別：転職後に年収増加した個人が多かった職種】

転職後に年収増加した個人が多かった職種は、「技術職（SE・インフラエンジニア・Webエンジニア）」（65.4%）、次いで「クリエイター・クリエイティブ職」（64.2%）、そして「企画・管理」（60.7%）が続きました。

転職後の職種	2026年3月		先月差	
	年収増加	年収減少	年収増加	年収減少
技術職（SE・インフラエンジニア・Webエンジニア）	65.4%	33.4%	0.2pt	-0.2pt
クリエイター・クリエイティブ職	64.2%	32.1%	-5.7pt	6.7pt
企画・管理	60.7%	37.8%	5.1pt	-5.1pt
営業職	60.5%	38.1%	2.0pt	-2.5pt
技術職（機械・電気）	59.1%	40.5%	-0.9pt	0.6pt
技術職・専門職（建設・建築・不動産・プラント・工場）	58.0%	41.8%	-3.0pt	3.5pt
技術職（化学・素材・化粧品・トイレタリー）	57.2%	42.8%	-8.1pt	8.9pt
事務・アシスタント	55.8%	42.9%	-3.1pt	3.2pt
販売・サービス職	54.6%	43.7%	-1.0pt	0.0pt

転職サービス「doda」（2026年4月）

※ 各業種、職種において、転職決定者数が当社基準を満たしているもののみ公表しています。

毎月公表していました本レポートは、2026年3月版をもって終了します。今秋頃に、転職前後の決定年収レポート（四半期版）を公表予定です。

---

■ [転職サービス「doda」](https://doda.jp) について < <https://doda.jp> >

「doda」は、「はたらく今日が、いい日に。」をスローガンに、転職サイトや転職エージェント、日本最大級のdoda転職フェアなど、各種コンテンツで転職希望者と求人企業の最適なマッチングを提供しています。

パーソルキャリア：転職 中途・新卒採用 副業プロ人材領域 有識者一覧

転職・中途採用領域	
	<p><b># 転職市場全般 # Z世代のはたらく価値観 # 企業の離職防止策</b></p> <p><b>doda 編集長 桜井 貴史 (さくらい たかふみ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月発表する doda 転職求人倍率レポートの解説を担当。企業の採用事情と個人の転職動向ともに精通している。</li> <li>・ベネッセ i-キャリア出向時に、60 万人以上の若者のキャリア支援に携わった経験から、Z 世代の就職・転職動向やキャリア形成、企業の採用・育成手法にも詳しい。</li> </ul>
	<p><b># 女性のキャリア</b></p> <p><b>doda 副編集長 川嶋 由美子 (かわしま ゆみこ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 児の母でもある自身の経験も踏まえ、「女性の管理職意向」「企業の女性活躍推進」など、女性のはたらく価値観の変化や企業の動向に詳しい。</li> <li>・キャリアアドバイザーとして 12 年間、転職希望者のキャリア支援に携わった経験から転職希望者の動向（転職理由、はたらく価値観）にも精通。</li> </ul>
	<p><b># 転職希望者の動向 # 中小・スタートアップの採用動向</b></p> <p><b>doda 副編集長 高橋 直樹 (たかはし なおき)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏キャリアアドバイザー部門の責任者を務めており、業種・職種問わず転職希望者の動向（転職理由、はたらく価値観）に精通している。</li> <li>・転職メディア事業部にて中小・スタートアップ企業の開拓部隊の立ち上げを牽引した経験から、中小・スタートアップ企業の採用動向にも知見がある。</li> </ul>
	<p><b># ミドル層のキャリア # ハイクラス転職 # 企画・管理職の求人動向</b></p> <p><b>doda 副編集長 山口 義之 (やまぐち よしゆき)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイクラス層向け転職支援事業の責任者を務めた経験上、「ミドル層のキャリア観」「ハイクラス層の転職希望者の動向」「企画・管理職の求人動向」などに詳しい。</li> <li>・大手法人向けの採用支援組織の責任者であり、大手企業の採用動向にも知見がある。</li> </ul>
新卒採用領域	
	<p><b># 新卒採用 # 企業の動向</b></p> <p><b>doda キャンパス編集長 川嶋 由美子 (かわしま ゆみこ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒採用における企業動向（新卒採用市場全般、企業の採用計画）などに精通している。</li> </ul>
	<p><b># 就活 # 大学や学生の動向 # キャリア教育</b></p> <p><b>doda キャンパス副編集長 平山 恭子 (ひらやま きょうこ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベネッセ i-キャリアで「大学低学年（1, 2 年生）」向けキャリア教育事業を牽引した経験から、就職活動における大学や学生の動向（就職支援・就活実態）などに精通している。</li> </ul>

ミドルシニア領域



#ミドルシニアのキャリア #労働移動 #脱炭素 (GX) 人材 #地方×ベテラン人材

ミドルシニア労働市場スペシャリスト 石井 宏司 (いしい こうじ)

- ・就労人口が平均 50 歳を超える 2030 年を見据え、転職市場におけるミドルシニア層のキャリア支援体制の強化やミドルシニアが活躍できるキャリアパスの開発に従事。2025 年 4 月から、企業のミドルシニアやハイキャリア人材活用の推進を担う。
- ・大手コンサル会社での勤務経験を活かし、アカデミックな視点から多角的な分析や課題の特定を得意とする。

副業・プロ人材領域



#副業 #フリーランス #プロ人材 #社外取締役

HiPro 事業部 事業部長 山田 遼平 (やまだ りょうへい)

- ・プロ人材による経営支援サービス「i-common」(現: HiPro Biz) コンサルタントとして製造業、小売業、金融業、人材業、運輸物流業など幅広い業界を担当後、組織マネジメントや顧客体験向上の領域を統括。
- ・「副業・フリーランス領域における市場の最新動向」「副業人材活用による地方創生」「企業間での副業実態や効果」などのプロ人材領域や、「社外取締役」に関する市場や企業・個人ニーズにも精通。